

# 2020年度保険者機能強化推進交付金等の方向性について

## 1. 方向性

- 平成30年度に創設された本交付金は、初年度は都道府県が10月、市町村が12月に配分額を内示。2年度目である本年度は、都道府県・市町村ともに8月に配分額内示を行ったところである。  
2020年度は更に内示時期を早める必要がある。
- また、いくつかの自治体より、年度途中から新規事業を立ち上げる、または内容を拡充するのは困難であるとも聞いており、高齢者の自立支援・重度化防止、中でも介護予防・健康づくりに取り組んでいただくには、当初予算から事業化を図る必要がある。
- そのために、2020年度中に、2021年度分の評価指標による評価結果及び配分額をお示しすることにより、2021年度においては各自治体が当初予算へ計上していただくことが可能となり、もって取組の更なる推進を図る。

## 2. 指標見直しの主な内容

- 予防・健康づくりに係る取組の重視
- アウトカム指標等の拡充
- 全国上位自治体の評価にあたり4段階評価による精緻化（通いの場への参加率等）
- 自治体規模（第一号被保険者数）別の評価の導入

桑名市	2018年度	562点	91.8%	2019年度	624点	90.1%
全国	2018年度	612満点	平均67.2%	2019年度	692満点	平均61.9%

など

## 3. スケジュール

